平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月10日

上場会社名　株式会社 三光マーケティングフーズ　　上場取引所　東
コード番号　2762　URL　http://www.sankofoods.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 平林　実
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長　(氏名) 山田　博昭　TEL 03-5985-5711

四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	19,279	6.3	1,627	2.6	1,705	16.8	742	70.2
23年6月期第3四半期	18,134	△8.2	1,586	△19.6	1,460	△22.7	435	△55.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	5,157.44	―
23年6月期第3四半期	3,029.61	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	20,131	15,041	74.7
23年6月期	19,365	14,529	75.0

(参考) 自己資本　24年6月期第3四半期　15,041百万円　23年6月期　14,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	―	800.00	―	800.00	1,600.00
24年6月期	―	800.00	―		
24年6月期(予想)				800.00	1,600.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	9.4	2,500	3.6	2,450	10.2	1,100	81.4	7,645.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期3Q	143,870 株	23年6月期	143,870 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	― 株	23年6月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期3Q	143,870 株	23年6月期3Q	143,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
4. 四半期財務諸表 …… 5
(1) 四半期貸借対照表 …… 5
(2) 四半期損益計算書 …… 7
【第３四半期累計期間】 …… 7
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(4) セグメント情報等 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
(6) 重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間（平成23年７月１日から平成24年３月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の落ち込みから緩やかながらも回復の兆しを見せておりましたが、円高の進行による輸出の伸び悩みや、欧州の財政不安等を背景とした株価の低迷、世界経済の減速懸念の高まり等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、食材の調達価格は上昇している一方でお客様の節約意識は依然強く、経営環境は厳しさを増していくなかで、お客様に求められるのは、単なる低価格ではなく「価値ある低価格」へと変化してきております。

このような状況を踏まえ、「価値ある低価格の開発・提案」を基本として、「居酒屋業態の革新」と「日常食業態の開発・展開」を政策として掲げ、両業態の深耕と拡大に取り組んでまいりました。

居酒屋業態の革新につきましては、「新しい価値の提案」の方針のもと、常に新しい商品を楽しんでいただくためにドリンク、フードのグランドメニューの変更、流行を取り入れた「韓国フェアの実施」などの諸策を実施してまいりました。また、お客様に「ワクワクの提供」を目的としたオーダー端末による「金の蔵Jr.ルーレット」のテスト導入を行うなど、メニュー以外の点からも、お客様へ新しい価値の提案を実施し、常に進化を目指して営業活動に取り組んでまいりました。

「日常食業態の開発・展開」につきましては、その斬新さ、「高価値・低価格」といった商品自体の持つ魅力・優位性から多くのお客様にご支持をいただいている「東京チカラめし」のブランドを一気に高めるべく、急速出店に注力するとともに、「韓国風うま辛焼き牛丼」「野菜たっぷり焼き牛丼」といった新メニューの開発導入、また、カレー商品を一定期間お得な価格で販売する「カレーフェア」を実施する等、業態の浸透と深耕のために取り組んでまいりました。さらに、急速な店舗展開に向けた組織体制の見直し、居酒屋業態で行っているＱＳＣをチェックする仕組みの導入・展開等、商品の品質チェックとサービスレベルの向上に努め、当事業の成長基盤構築に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、東京チカラめしを56店舗、金の蔵Jr.を４店舗、カヴェノアーナを１店舗の合計61店舗を行うとともに、居酒屋業態３店舗の撤退を行い、事業の成長性と収益性確保のための店舗編成に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高192億79百万円（前年同期比6.3％増）、営業利益16億27百万円（同2.6％増）、経常利益17億５百万円（同16.8％増）となり、四半期純利益は７億42百万円（同70.2％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における流動資産は、39億41百万円となり、前事業年度末に比べ７億３百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は161億90百万円となり、前事業年度末に比べ62百万円増加いたしました。これは主に、新規出店の増加に伴う有形固定資産の増加によるものであります。この結果、総資産は201億31百万円となり、前事業年度末に比べ７億65百万円増加いたしました。

当第３四半期会計期間末における流動負債は、34億７百万円となり、前事業年度末に比べ３億89百万円増加いたしました。これは主に、買掛金及び設備関係未払金の増加によるものであります。固定負債は16億82百万円となり、前事業年度末に比べ１億35百万円減少いたしました。これは主に、リース債務の減少によるものであります。この結果、負債の部は50億90百万円となり、前事業年度末に比べ２億54

百万円増加いたしました。

当第３四半期会計期間末における純資産の部は、利益剰余金の増加等により150億41百万円となり、前事業年度末に比べ５億11百万円増加いたしました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年６月期通期の業績予想につきましては、平成23年８月12日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年６月30日）	当第３四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,103	2,768
受取手形及び売掛金	246	241
原材料	43	41
前払費用	408	464
繰延税金資産	138	138
その他	296	286
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,237	3,941
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,199	6,498
減価償却累計額	△1,524	△1,967
建物（純額）	3,674	4,531
工具、器具及び備品	1,055	1,564
減価償却累計額	△560	△784
工具、器具及び備品（純額）	495	780
土地	942	942
リース資産	2,343	823
減価償却累計額	△728	△493
リース資産（純額）	1,615	330
建設仮勘定	33	37
有形固定資産合計	6,761	6,622
無形固定資産	118	117
投資その他の資産		
投資有価証券	1,118	1,188
関係会社株式	346	253
差入保証金	6,556	6,808
長期預金	220	220
繰延税金資産	415	415
投資不動産（純額）	296	294
その他	298	272
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	9,248	9,449
固定資産合計	16,128	16,190
資産合計	19,365	20,131

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年６月30日）	当第３四半期会計期間 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	987	1,157
リース債務	377	224
未払金	263	271
未払費用	628	701
未払法人税等	208	426
未払消費税等	73	53
前受収益	231	53
役員賞与引当金	72	54
設備関係未払金	94	351
その他	81	112
流動負債合計	3,018	3,407
固定負債		
リース債務	310	141
退職給付引当金	165	147
役員退職慰労引当金	507	532
長期預り保証金	279	279
資産除去債務	555	582
固定負債合計	1,817	1,682
負債合計	4,836	5,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,390	2,390
資本剰余金	2,438	2,438
利益剰余金	9,701	10,213
株主資本合計	14,531	15,043
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
純資産合計	14,529	15,041
負債純資産合計	19,365	20,131

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	18,134	19,279
売上原価	4,326	4,993
売上総利益	13,808	14,285
販売費及び一般管理費	12,221	12,657
営業利益	1,586	1,627
営業外収益		
受取利息	1	1
受取賃貸料	17	17
投資有価証券評価益	－	70
貸倒引当金戻入額	－	1
雑収入	12	14
営業外収益合計	31	104
営業外費用		
支払利息	31	13
投資有価証券評価損	118	－
貸倒引当金繰入額	0	－
賃貸費用	8	8
雑損失	－	5
営業外費用合計	158	26
経常利益	1,460	1,705
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	－	35
受取和解金	－	39
その他	－	1
特別利益合計	－	77
特別損失		
固定資産除却損	55	134
店舗閉鎖損失	27	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	235	－
賃貸借契約解約損	2	－
減損損失	283	123
その他	18	10
特別損失合計	621	281
税引前四半期純利益	838	1,500
法人税等	402	758
四半期純利益	435	742

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

当社においては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。